

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5 年 3 月 1 日

事業所名 きらり玉島

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			
	2 職員の配置数は適切である	5	1	・通常では適切であるが、職員が休むと手一杯と感じることもある ・育休、退職者の補充が出来ていない ・日による、すぐ余裕がある日もある、少ししんどい日もある	・今年度は、育休・退職した職員の補充が十分に出来なかった（昨年度に比べて1名）。 そのため、来年度は職員体制を確保することが出来るよう努める。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	2	・階段が急である、2階の階段が急 ・段差等もあり、バリアフリー化への配慮が必要である ・活動する場所は明確に分けられている ・建物が建物なので仕方ない	・移転等検討していたが、今年度は特に動きがなかった。来年度実施することが出来るよう努めたい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	2	・仕切りがあるスペースや玩具をたくさん出して遊べるスペースがある ・日々、掃除や消毒をし清潔に努めている ・パーテーション等で区切り、スペースを作るようにしている ・清潔はされているが、建物自体が古くなっている。 ・人数によっては、手狭な時がある ・建物上階にはならない	・上記同様、移転等を検討していく。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6		・毎日の終礼で振り返っている	・引き続き、支援後の振り返りを終礼等で行なう。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6		・R5年2月に第三者評価を受ける。	・第三者評価の受診結果は、後日公表する。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		・パートにも新任研修があったり回覧で研修等のお知らせをしてくれる ・研修等の内容を他の職員にも共有している ・勤務時間の中で行くことが出来て、すぐありがたい。	・引き続き、研修案内や研修後の振り返りを回覧したり参加を促したりする。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6			
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			
	12 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	無記入 1	・正職ではないため携ってはいないが、出来たものを回覧してくれたり適切な支援の仕方やこういうところを見てほしい等丁寧に知らせてくれる ・必要な項目が選択されているかは分からない	・正規職員だけでなく、全職員が把握することが出来るよう努める。
	13 個別支援計画に沿った支援が行われている	6		・情緒の影響やご家族の同意の上で実施出来なかった日はその旨を記載している（早帰りのため未実施等）。	・引き続き、保護者と一緒に利用児の個別支援計画を遂行する。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	6			
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6		・児の様子に合わせて設定している	・引き続き、利用児の姿に合わせて活動を設定する。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		・朝礼にて実施 ・ボードで予定を把握している	・引き続き、職員間で共有して利用児の支援を行なう。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		・終礼や昼礼で振り返りが出来る	・引き続き、支援後に全職員で振り返りが出来るよう時間を設ける。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		・ケアコラボに記録している	・引き続き、ケアコラボを活用する。
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6				
21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6				

関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	6			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6		・法人内の保育園と交流を実施 ・第二保育園と交流している	・今年度、10月～インクルーシブ交流として小ざくら第二保育園との交流を始めた。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	無記入1	・私は携わっていないが、いつも丁寧に適切に関わっているなど感じる ・分かりません	・今年度は、児童発達支援部会の主要メンバーとして参加した。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		・今日の様子を丁寧に知らせているなど感じる	・引き続き、登降園のやりとり・懇談等保護者と共有する。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6			
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ている	6			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		・スキルを向上させたい	・保護者対応に困っている職員がいれば、上位職員が助言をする等職員全体で専門的な助言をすることが出来るよう努める。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3 無記入1	・正確でないため分らないが、正確の方は丁寧に真摯な対応をされているなど感じる ・自分もまた勉強していきたい ・コロナにより、機会が減っている ・コロナ禍ということもあり、実施に至っていない ・コロナ禍で出来ない	・今年度は、積極的に実施することが難しかった。来年度は実施したい。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		・会報や通信を発信している	・法人の広報誌「ふれあい」や事業所の通信「きらり通信」を配布している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6		・シュレッダーをしたり、保護者が帰ってから準備(利用児の顔写真等)をしている	・引き続き、個人情報には配慮する。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	1	・今後勉強していきたい	・正規職員だけでなく、全職員が把握することが出来るよう努める。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4 無記入1	・分かりません ・コロナにより、現在は困難な状況である ・数人のボランティアさんが来て下さる	・今年度は地域との関わりがなかった。来年度は積極的に行ないたい。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6		・回覧をしてくれたり定期的に避難訓練等を実施している ・毎月実施している
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		・回覧をしてくれたり定期的に避難訓練等を実施している	・引き続き、緊急時に備えてマニュアルを整備したり避難訓練を実施したりする。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	2	・把握できていないため、きちんと確認しておく必要がある	・てんかん発作がある児はいない。入園した場合は、共有する。
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	・アレルギーの札をおやつに付けたり、おやつ入れの箱に表を付けたりしている	・医師の指示書まではもらっていない。
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1	・回覧で見ている	・今後もヒヤリハットやKYT等事業所内で研修することが出来るよう努める。

46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載している	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりません ・必要に応じての対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に説明をしている。 ・送迎車を利用している児は、シートベルトを着用することを明記している。